

人は幸せに生きることができません。

では私たちは、悲しみの中で誰からの慰めを経験するのでしょうか。それは神です。新約聖書にこうい言葉があります。

「神は、どのような苦しみのときにも、私たちが慰めてくださいます。それで私たちも、自分たちが神から受ける慰めによって、あらゆる苦しみの中にある人たちを慰めることができます。私たちにキリストの苦難があふれているように、キリストによって私たちの慰めもあふれているからです。私たちが苦しみにあうとすれば、それはあなたがたの慰めと救いのためです。私たちが慰めを受けるとすれば、それもあなたがたの慰めのためです。その慰めは、私た

験することができません。神との関係を回復するためには、神の子であるイエスを信じ受け入れなければなりません。イエスは、十字架で私たちの罪を償い、三日目に死からよみがえり、私たちと神との関係を回復する道を開いてくださいました。神は、イエスを通して私たちとの和解の手を差し伸べています。私たちがもしイエスを信じ受け入れるなら、神との関係を回復し、神の慰めを経験するようになるのです。イエスを信じ受け入れるとは、イエスこそ神の子であると信じ、イエスに人生を委ねていくことです。その時に私たちは、人生のあらゆる悲しみの中で神の慰めを経験し、

「悲しみの人」であると同時に、「慰めの人」とされていくのです。

悲しむ者は幸いです  
その人たちは慰めらる  
からです

中村信哉

さがみのキリスト教会牧師

ちが受けているのと同じ苦難に耐え抜く力を、あなたがたに与えてくれます」(IIコリント1:4-6)。

苦しみや悲しみは、私たちが神の慰めを経験する機会をもたらします。苦しみや悲しみは私たちが、人を慰める人へと変えてくれます。悲しみは、神の慰めを経験する機会であり、私たちが慰めの人へ変えてくれる機会です。

おわりに

私たちが人間の悲しみの根本的な原因は、神との関係を失ったことにあります。私たちは、神との関係を回復しなければなりません。神との関係を回復した人こそ、神の慰めを経

### 【集会案内】

礼拝

毎週日曜日 10:30~11:45

教会の中心的な集会です。ぜひ手ぶらで、気軽にお越しください。

聖書を読む会

毎週木曜日 10:00~11:30

聖書を読みたいけれど、一人では難しくて、よく分からないという方は、ぜひお越しください。

◆より詳しく知りたい方は、お気軽に下記までご連絡ください。

日本長老教会  
さがみのキリスト教会

神奈川県相模原市南区相模台 5-10-5  
TEL/FAX : 042-748-8848

HP : <http://www.ofgod.org/>



「悲しむ者は幸いです。  
その人たちは

慰めらるからです。」

マタイの福音書5章4節



## 1. 悲しみの根本的な原因

ある人は、喪失感こそ人に悲し  
みをもたらすと言います。健康を  
失った、家族を失った、信頼関係  
を失った、仕事を失った、財産を  
失った、夢を失った、自信を失っ  
た、そういった喪失感こそ、私た  
ちに悲しみをもたらすのだと言っ  
たのです。

しかし聖書は、人の悲しみの根  
本的な原因は、神との関係を失っ  
たことにあると言います。人類最  
初の人であるアダムとエバは、神  
に従わずに禁断の木の実を食べて  
しまいました。その結果、全人類  
は神との関係を失ったのです。そ

現実の中に来られ、私たちと同じよ  
うに悲しみを経験されました。旧約  
聖書には、イエスについてこのよう  
に言われています。

「彼は蔑まれ、人々からのけ者にさ  
れ、悲しみの人で、病を知ってい  
た」（イザヤ書53：3）。

イエスは、当時の宗教家たちから  
妬まれ、憎まれ、十字架に架けられ  
て殺されました。その時、親しい弟  
子たちにも裏切られ、ひとり孤獨に  
十字架で死を迎えました。イエスは  
また、神にも捨てられました。聖書  
によれば、イエスの十字架の死は、  
私たち人間の罪を償うためでした。  
イエスは、私たちの代わりに神の裁  
きを受け、神に捨てられたのです。  
イエスの地上の生涯は、わずか三十

## はじめて

イエス・キリストはある時、群  
衆に対して「幸せ」について話さ  
れました。イエスのもとに集まっ  
て来た群衆というのは、様々な病  
や痛みを苦しむ人々でした。彼ら  
は多くの悲しみを経験した人たち  
でした。イエスは彼らに、「悲し  
む者は幸いです」と言われました。  
私たちは、悲しみを不幸にする  
と考えます。悲しみの要因が取  
り去られれば幸せになれる、状況  
が変われば、事態が好転すれば幸  
せになれると考えます。しかしイ  
エスは、悲しみは人を幸せにする、  
悲しみの中でも人は幸せに生きる  
ことができると言われるのです。

うして私たち人間は、生まれなが  
らに罪の性質を持つようになり、  
死という現実が私たちを支配し、  
互いに争い合うようになったので  
す。そして労働も家庭も、私たち  
に悲しみをもたらし、動物や自然  
も私たち人間に危害を加えるよう  
になったのです。

神との関係の喪失、それが私た  
ち人間に、様々な悲しみをもたら  
した根本的な原因だと聖書は言う  
のです。

## 2. イエスの悲しみ

聖書は、イエスは神の子である  
と言います。イエスは、天から私た  
ちの悲しみをただ眺めているので  
なく、人となって私たちの悲しみの

数年の短い生涯でしたが、その短い  
生涯の中で、多くの悲しみを経験し、  
悲しみの人となられたのです。

「悲しむ者は幸いです」と言われ  
たイエスは、悲しみを知らない人  
ではありませんでした。多くの悲し  
みを経験された「悲しみの人」であ  
ったのです。

## 3. 神からの慰め

なぜ「悲しむ者は幸い」なので  
しょうか。イエスによれば、それは  
「慰められるから」です。悲しみを  
経験すればするほど、慰めをも同じ  
ように経験するのです。人は、慰め  
を経験するからこそ、悲しみの中  
でも幸せに生きることができるよう  
です。悲しんだ分だけ慰めも経験する  
ので、